

ARIAKE-VIETNAM プロジェクト 事業概要

有明工業高等専門学校 × カオタン技術短期大学（CTTC・ホーチミン市）による日越国際連携事業。
学生研究シンポジウム（SRS）と来日研修を軸に、地域企業と理工系人材をつなぐ取り組みです。

有明高専 GEC ベトナム事業担当
高専機構国際協力事業
CTTC教育支援担当
助教 高木 蘭絹子

事業の3つの柱

SRS（学生研究シンポジウム）

両校の学生が生活・社会課題の解決をテーマに研究へ取り組み、英語で発表する場。在越企業からの注目度も高く、ベトナム現地メディアでも報道されています。

招待イベント（来日研修）

SRSで優秀賞を受賞した学生を、有明高専の所在する大牟田近隣へ招待。連携・協力企業の工場見学と、旧炭鉱都市の産業遺産・技術的解決事例を実地で学びます。

学生人材との交流

意欲的なベトナム人理工系学生と、海外を志す有明高専生の架け橋。来年度以降は日越共同会話レッスン等、継続的な交流の場も予定しています。

2025年度の実績

- SRS 2025（2025年12月・ホーチミン市/CTTC）** — オーラル/ポスターの2部構成。CTTC・各地の高専の学生が卒業研究やロボット研究などを**英語で発表**。
- 連携企業の三井三池製作所・旭製作所より**特別賞**をCTTC学生2名に授与。統一会堂・戦争証跡博物館の交流シティツアーも実施。
- 来日研修（2026年2月・4日間）** — 受賞学生2名と引率教員の計3名が来日。近隣の連携・協力企業での工場見学・体験プログラムに参加。大牟田市石炭産業科学館や柳川の川下りなど地域文化体験も実施。

今後の展開（2026年度～）

- SRS 2026 — 11月開催予定**。現在、参加グループのセレクションを進行中。ベトナムに拠点をお持ちの企業様は、現地シンポジウムへのお立ち寄りも歓迎します。
- 招待イベント** — 優秀賞受賞のベトナム人学生を**2027年春**に有明高専へ招待し、企業見学・学生との技術交流を実施。発表水準の高さを受け、**受賞枠の拡大**も検討中。
- 異文化・異言語環境での技術交流は、本校学生のコミュニケーション力・国際的視野・技術的知見の成長にも直結しています。

2025年度 連携・ご協力企業

連携企業

三井三池製作所

SRSへの役員派遣、現地への渡航費支援/来日研修では最新型ロードヘッダーの見学を提供し、産業遺産との対比を通じた学びの機会に。

連携企業

旭製作所（AGI）

現地への渡航費支援、来日時の移動費・食事の支援/マッチングラボにて経営シミュレーション「マネジメンゲーム」体験を提供。

ご協力企業 信号電材

登録有形文化財（旧三池炭鉱三川電鉄変電所）の本社にて工場見学を受け入れ、東南アジアの交通インフラ事業についても紹介いただきました。

年間の流れ

11月

SRS（現地開催）

ホーチミン市・CTTCにて学生が英語で研究発表。連携企業による特別賞授与。

選考

優秀賞の選出

発表内容を審査し、来日研修へ招待する受賞学生を決定。

翌春

来日研修（大牟田）

受賞学生が来日。連携・協力企業の工場見学・体験、地域文化交流を実施。

課題と、パートナー企業募集のお願い

現状の課題

- 現状は高専機構本部の海外戦略に依拠する部分が多く、本部方針の変更により継続が左右されるリスクを抱えています。**カオタン技術短期大学との連携を安定的・自律的に継続できる体制の構築**が急務です。
- 受賞学生がより多様な日本の産業・技術・企業文化に触れられるよう、**連携企業の裾野を広げていく**ことも重要な課題です。ともに事業を育てていただけるパートナー企業様を広く募集しています。

ご支援企業様へのメリット

- SRS会場でのご紹介、および現地学生・教員との交流の機会をご提供します。
- 来日イベントでは、近隣エリアでの交流イベントへのご参加も歓迎。地元で意欲的・優秀な学生と**早期から接点を持ち、顔の見える関係**を築く機会としてご活用いただけます。

お問い合わせ・過去の実績

有明工業高等専門学校 GEC（国際係）

E-mail : gakkok-staff@ml.ariake-nct.ac.jp / 詳細は右記の窓口（Webページ）よりご確認ください。

